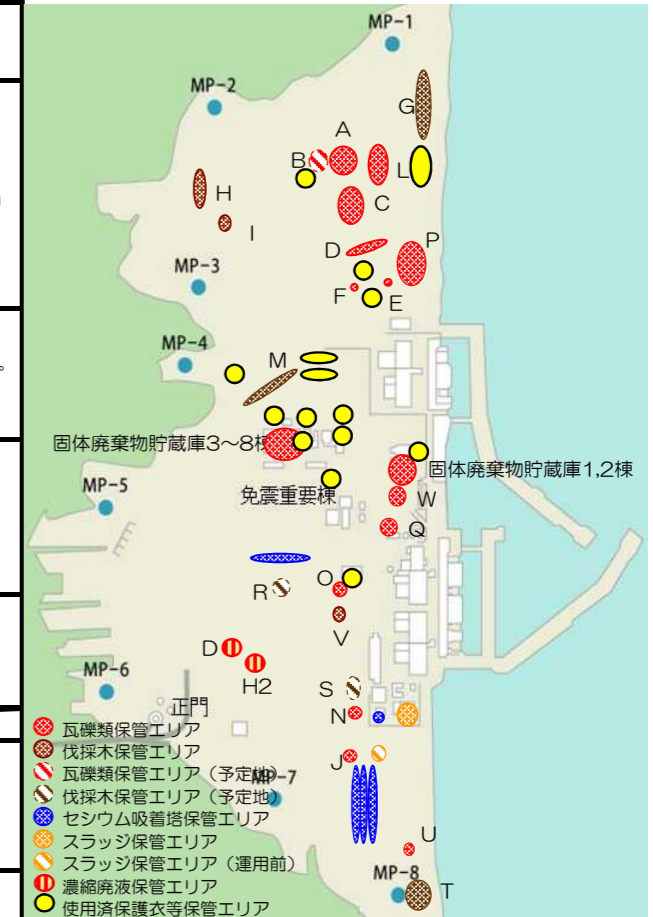


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2016.3.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量*1	前回報告比*2 (2016.2.29)	変動*3 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス		
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	C	屋外集積	0.01未満	55,700 m ³	-3,300 m ³	①②③④⑤⑥	88%	121700 / 177900 (68%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアCの破砕コンクリートの再利用実施。 可燃物集積 エリアHはコンクリート・金属の一時保管から、可燃物（容器収納）の一時保管に運用変更。（2015年9月8日～） β汚染土 タンク漏えい等で発生した主にβ核種で汚染した土については、エリアNでの一時保管を開始。（2015年7月15日～） フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。（2015年6月15日～） 2016年3月末時点で157基（コンテナ）保管。 	
		F	屋外集積	0.01	5,600 m ³	0 m ³	—	75%			
		J	屋外集積	0.02	3,600 m ³	+200 m ³	⑦	76%			
		N	屋外集積	0.01	4,200 m ³	0 m ³	—	42%			
		O	屋外集積	0.01	26,200 m ³	0 m ³	—	95%			
		P	屋外集積	0.01	25,700 m ³	+2,000 m ³	②⑦	40%			
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m ³	0 m ³	—	88%	33100 / 57300 (58%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアE エリアEの瓦礫類について、リスク低減の観点から容器収納へ移行中。 エリアP2 瓦礫類受入開始（2015年12月15日～） 	
		E	シート養生	0.02	6,300 m ³	-800 m ³	⑥	39%			
		P	シート養生	0.01	3,200 m ³	+100 m ³	⑥	35%			
		W	シート養生	0.02	21,000 m ³	0 m ³	—	72%			
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	20300 / 27700 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> 覆土式一時保管施設（第3槽） 瓦礫類収納完了：2015年8月21日 仮覆土：2015年10月26日完了 	
		A	仮設保管設備	0.35	1,700 m ³	微増	—	25%			
		E	容器*4	0.02	300 m ³	微増	—	18%			
		F	容器	0.01	600 m ³	0 m ³	—	99%			
	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器*4	0.03	6,800 m ³	+200 m ³	④⑦⑧	56%	6800 / 12000 (57%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、3号機建屋で発生した高線量瓦礫類。 第9棟設置に伴う実施計画変更認可。（2015年7月17日） 	
											合計（ガレキ）
	伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01未満	14,700 m ³	0 m ³	—	74%	64300 / 81500 (79%)	<ul style="list-style-type: none"> 工事により発生した幹・根を随時受入中。 チップ化処理の作業中（エリアVの枝葉）。 終了後、エリアGにて保管予定。
			I	屋外集積	0.01	10,500 m ³	0 m ³	—	100%		
			M	屋外集積	0.01未満	39,100 m ³	微増	—	87%		
			V	屋外集積	0.03	0 m ³	-2,400 m ³	⑨	0%		
		一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	7,300 m ³	0 m ³	—	56%	18400 / 24900 (74%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアGにおいて、伐採木一時保管槽を増設中。
T	伐採木一時保管槽		0.01	11,100 m ³	0 m ³	—	94%				
合計（伐採木）				82,800 m ³	-2,300 m ³	—	78%				
保護衣	屋外集積	容器	0.02	70,300 m ³	—	—	94%	70300 / 74500 (94%)	<ul style="list-style-type: none"> 雑固体焼却施設の運用開始（2016年3月18日） 使用済保護衣等焼却量 96t（2016年3月末現在） 焼却灰のドラム缶数 0本（3月末累積） （発生した焼却灰の量が少ない為、灰投入ホッパーに貯留中） 		
										合計（使用済保護衣等）	70,300 m ³

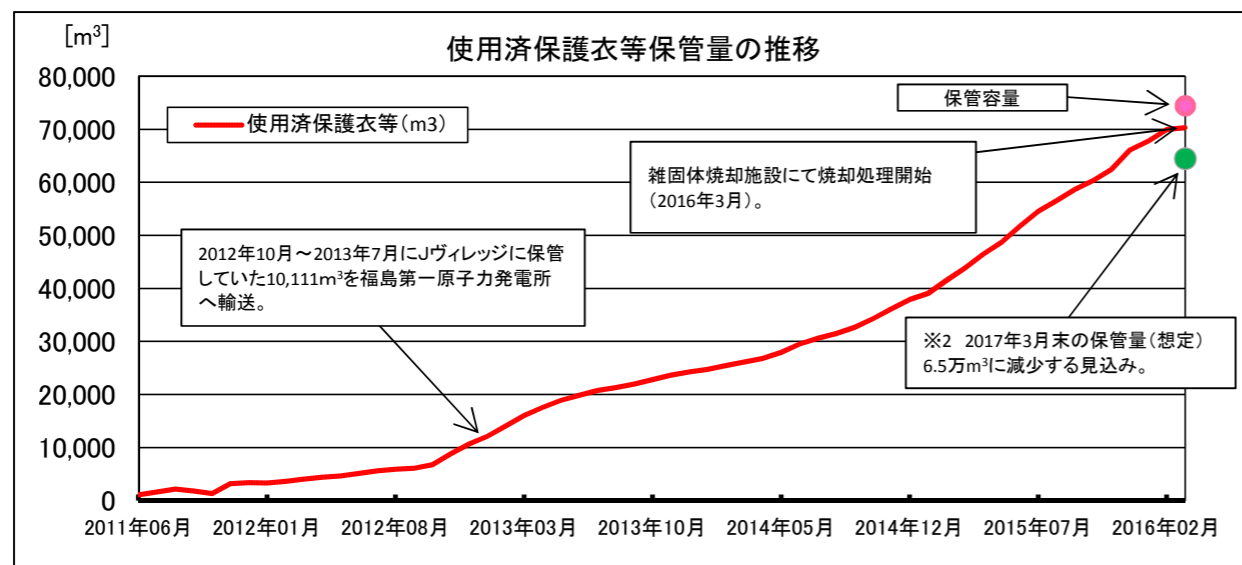
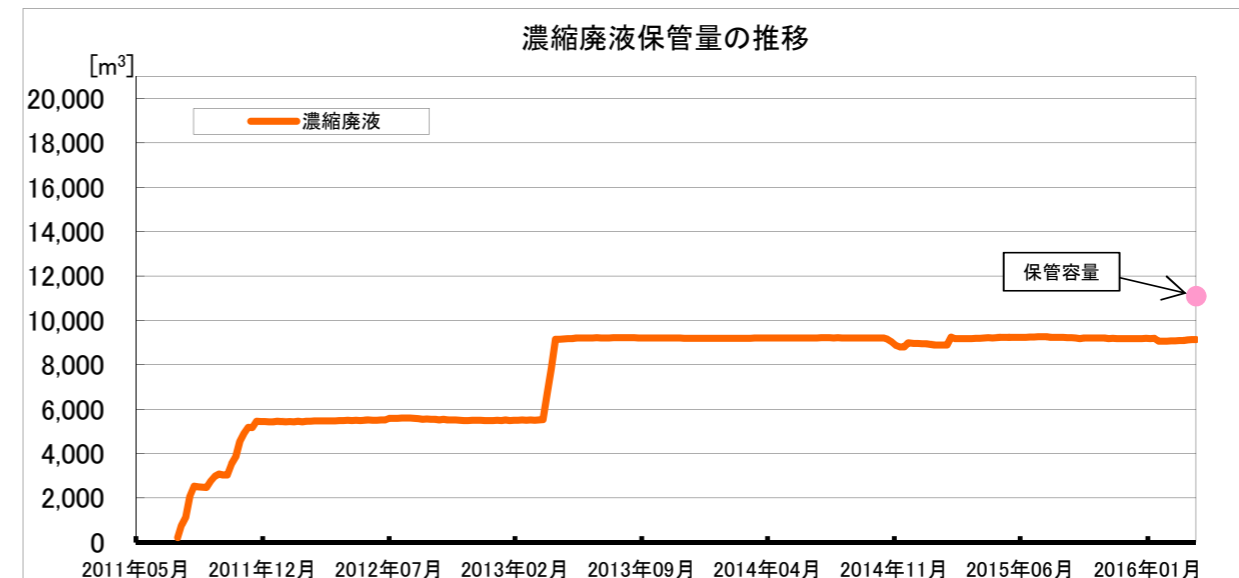
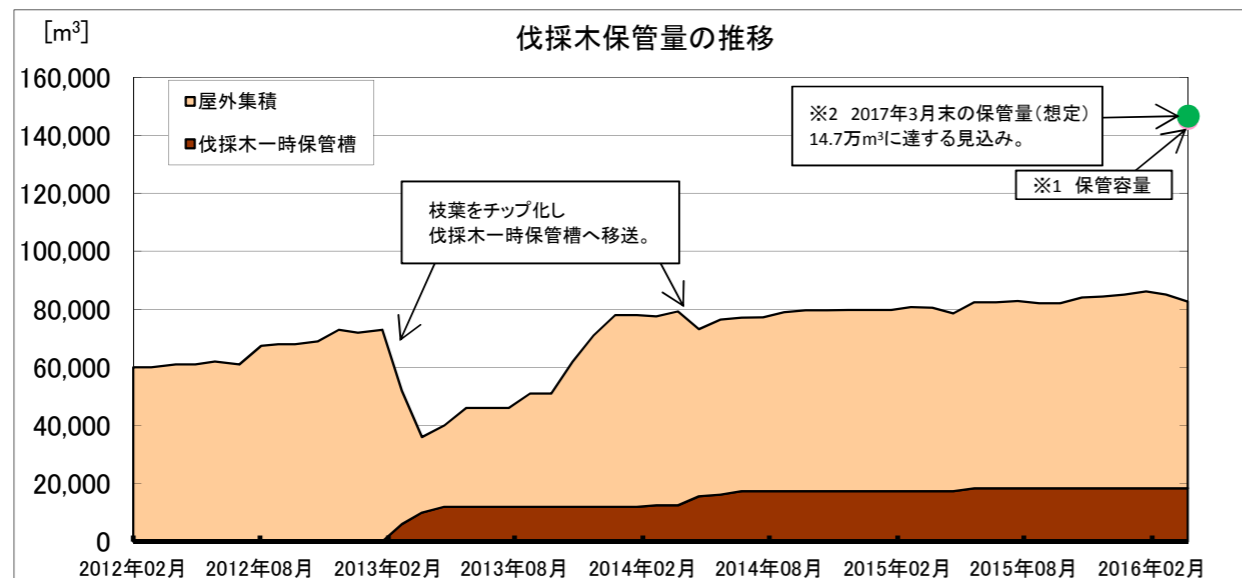
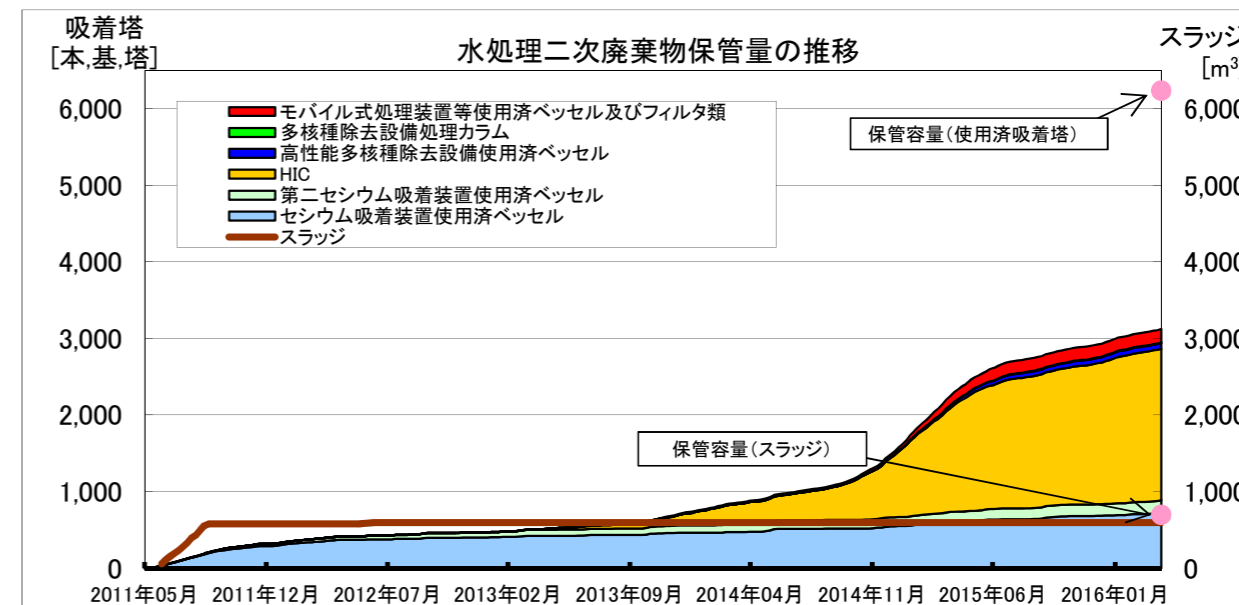
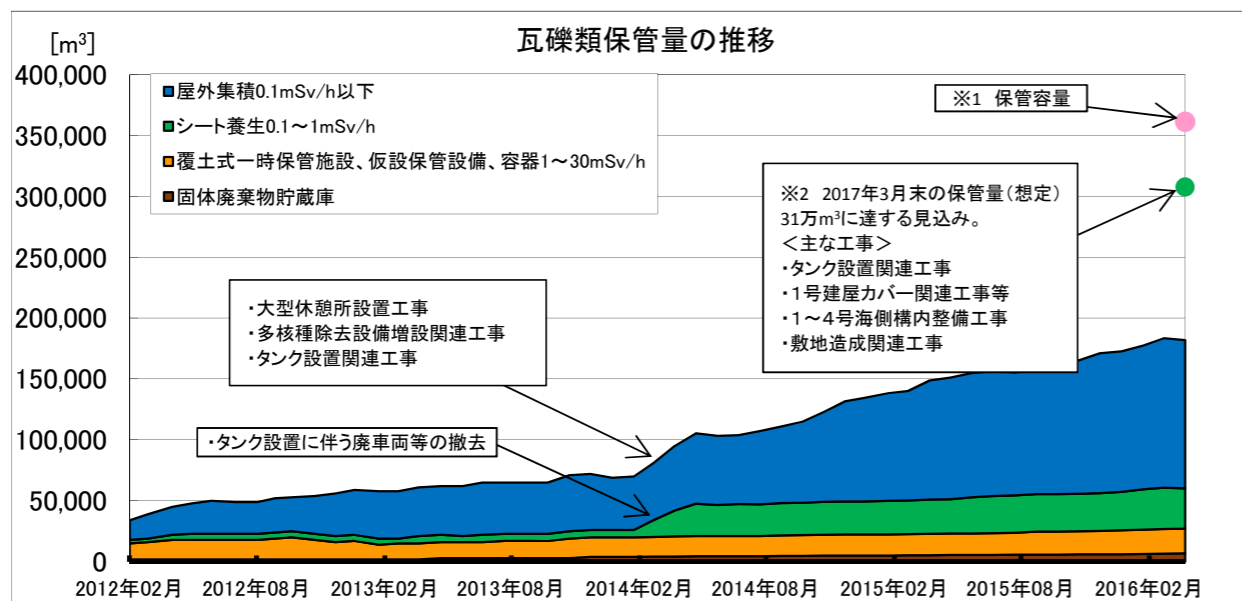
※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由：①フェーシング工事 ②タンク設置関連工事 ③陸側遮水壁設置工事 ④1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑤破砕コンクリートの再利用 ⑥エリア整理 ⑦焼却対象物の受入
 ⑧水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）の保管 ⑨チップ化処理のため枝葉の取出 等
 ※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2016.4.21時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2016.3.24)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	726 本	+20 本	3126 / 6239 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> 吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） 使用前検査終了（2016年3月28日）に伴う保管容量増（第三施設ボックスカルバート64塔分、第一施設架台108塔分） 	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	162 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,140 基			+5 基
			増設	838 基			+14 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	73 本			0 本
	多核種除去設備処理カラム	既設	9 塔	0 塔			
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	178 本	+5 本			
	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,138 m ³	+41 m ³	9138 / 11100 (82%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場バトロール異常なし） H2エリア（9,700m³）の撤去計画が認可。（2015年10月1日） これまで、8,900m³を供用廃止。 保管量に「タンク底部～水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。（約100m³） 	

瓦礫類・伐採木・水処理二次廃棄物・濃縮廃液・使用済保護衣等の保管量推移



※1 瓦礫類・伐採木の保管容量は、実施計画(2015年7月17日認可)の保管容量を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の2016年度末の保管量(想定)は、2015年7月の予測値。